（株）島津製作所　瀬田事業所

# 2013 年　環　境　報　告　書

2013 年 10 月 10 日

## ＜事業所概要＞

所　在　地　　大津市月輪１丁目８番１号

事 業 所 名　　株式会社　島津製作所瀬田事業所
〔敷　地　面　積　　36,406 平方メートル〕
〔全建屋投影面積　　26,187 平方メートル〕

代　表　者　　所　長　岩 崎 正 弘

本社所在地　　京都市中京区西ノ京桑原町１番地

## ＜主な事業所内企業＞

企業名　（株）島津製作所
フルイディクス機器部

従業員数　１２名
営業品目　油圧ポンプ・油圧モーター
油圧バルブ等の企画・開発

本社所在地　京都市中京区西ノ京桑原町１

企業名　島津メクテム　（株）

代表者名　取締役社長　西村節志
資本金　１００百万円
従業員数　１３０名
営業品目　真空熱処理炉・歯車ポンプ
工業用Ｘ線検査装置
ガラスワインダーの製造・販売

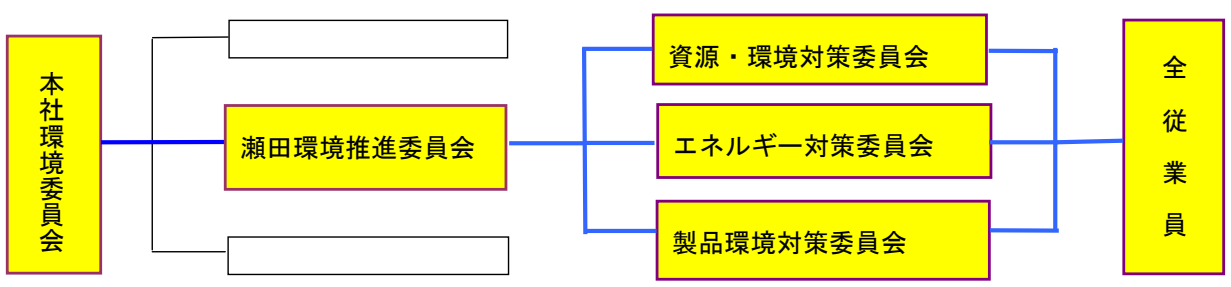
企業名　島津プレシジョンテクノロジー（株）

代表者名　取締役社長　岩崎正弘
資本金　３０百万円
従業員数　２３０名
営業品目　油圧ポンプ・油圧モーター
油圧バルブ等の製造

企業名　島津ロジスティクスサービス（株）
従業員数　１４名
主な業務　製品出荷

その他常駐企業　８社
従業員数　３５名
主な業務　運搬・警備・清掃他

## ＜環境改善運動組織＞



## ＜所長ご挨拶＞

当事業所は、㈱島津製作所本社（京都市）が定める環境方針に基づき、2001 年 2 月に瀬田事業所内の関係会社（島津メクテム㈱・島津プレシジョンテクノロジー㈱等）および各協力事業所が一体となって大津市と環境保全協定を締結し、同年 6 月の ISO14001 認証取得により本格的な環境改善活動をスタートさせました。今日まで ISO14001 に基づく環境マネジメントシステムの活用を通じて「廃棄物分別等による有価物率やリサイクル率の向上」「省エネルギーの推進による CO2 排出量の削減」「環境負荷物質を低減した環境にやさしい製品の開発」を大きな柱とし環境保全活動を展開してまいりました。また、日本最大の面積を有する琵琶湖と水と緑に恵まれた美しい景観のなかで、この豊かな自然と地球環境を保全するため、環境との調和を事業活動の最優先課題の一つと位置づけております。

更に、環境教育や啓発活動の推進とともに地域との環境調和や環境ボランティア等の活動にも積極的に参加することで、企業人市民として地域社会と協働して、社会貢献活動にも取り組んでおります。

地球規模の環境悪化は人類にとって深刻な問題となっています。また、生物多様性の危機も迫っています。今後、私たちは省資源・省エネルギー・環境負荷低減製品の開発など多くのテーマで地球環境問題に取り組み、環境保護と社会の持続的発展・豊かな社会の実現を目指し地球温暖化の防止・低炭素社会の実現に向け、貢献してまいります。また、このことを弊社の基本理念に置き、次世代の地球環境を視野に入れた事業活動を展開してまいります。

今後とも関係諸官庁および地域企業各位の一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。

文末になりましたが、以下に弊社の環境方針を掲示させていただきます。

2013 年 10 月

㈱島津製作所瀬田事業所　　所長　岩崎正弘

**１．　基本理念**

人類の健康と地球規模の環境保全は全世界共通の願いであり、社会の一員として地球環境問題を当社の最重要課題の一つとして位置づけ、当社経営理念「"人と地球の健康" への願いを実現する」べく企業活動を行い、地球を守り豊かな社会の実現に資する。

**２．　基本方針**

当社本社地区事業所は、環境分析・測定機器、などを含む、分析機器、計測機器、試験機器、医用機器、航空機器、油圧機器、産業機器、バイオプロダクツ及びセンサ・デバイスの開発・製造・販売・サービスの拡大に努めるとともに、本社地区事業所の業務活動、製品ならびにその製造過程及び関連サービスが環境に与える影響を的確に捉え、継続的な環境マネジメントシステムの改善により、持続的な環境負荷の低減と汚染の予防、社会の環境改善への積極的貢献を目指して、次の基本方針に基づき活動する。

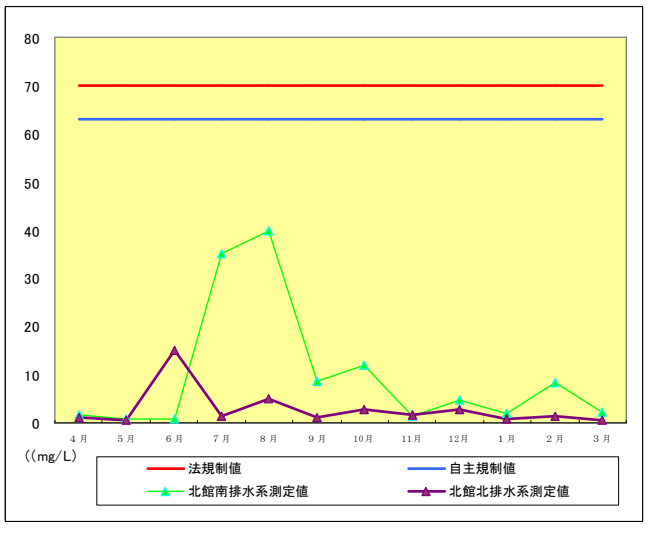
(1) 地球環境の保全と事業活動との調和を、経営の最優先課題の一つとして、本社地区事業所をあげて取り組む。
(2) 地球環境の保全活動を推進させるため、従業員及び敷地内で働く全ての人が活動できる組織を整備する。
(3) 地球環境保全に従業員及び敷地内で働く全ての人が責任をもって取り組むべく、環境教育及び啓発活動を行ない、地球環境保全に資する。
(4) 事業活動によって生じる環境への影響（環境汚染、資源減少、地球温暖化、オゾン層破壊、生物多様性の損失など）を的確に把握し、技術的、経済的に可能な範囲で、環境保全活動の継続的な向上を図る。
(5) 国際的環境規制及び国、地方自治体などの環境側面に関係して適用可能な法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守する。また、必要に応じて自主基準を策定して環境保全に努める。
(6) 当社本社地区事業所が行う事業活動が、環境に与える影響のうちで、特に以下の項目について優先的に保全活動を推進する。
①事業活動によって生ずる環境負荷の低減と汚染の予防を図る。
②機能や用途により社会の環境改善に役立つ製品（環境貢献製品）およびライフサイクルを通じて環境負荷の低減に配慮した製品（環境配慮製品）を社会に積極的に提供する。
③蓄積された環境保全のノウハウを使って外部の環境活動を支援する。
④二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの排出削減に努め、地球温暖化の防止、低炭素社会の実現に貢献する。
⑤生物多様性への理解を深め、保全に努める。
(7) 地域住民、関係諸官庁とのコミュニケーションを図り、地域社会に貢献する。

## ＜2012 年度の主な環境改善活動＞

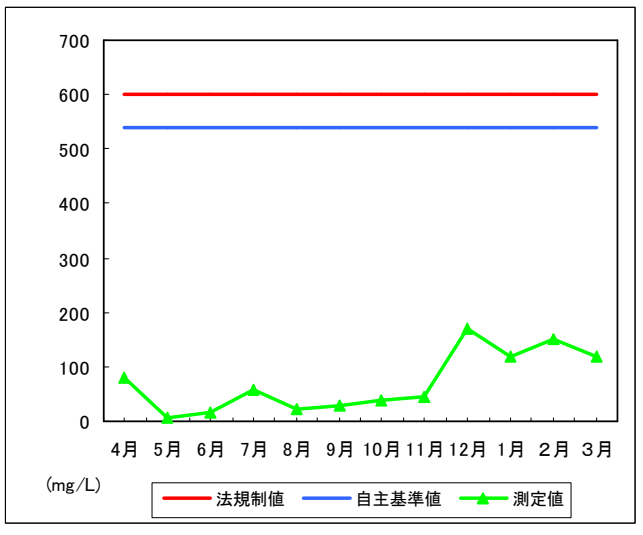
- **2012 年　3 月　　2012 年度・環境改善計画を決定**
- **2012 年　4 月 ～ 7 月　環境ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄﾏﾆｭｱﾙにもとづく特別教育・緊急訓練および一般教育の実施**
- **2012 年　4 月 ～　　新環境改善計画にもとづく、全従業員による改善活動の実施**
- **2012 年　5 月　　㈱日本環境認証機構による外部審査を実施。全面停電（5 日）の実施**
- **2012 年　6 月 ～10 月　クールビズの実施。ライトダウン日設定による看板ライトアップの消灯。**
- **2012 年　7 月　　琵琶湖を美しくする運動参加　（島津メクテムは、47 年間連続参加）**
- **2012 年 10 月　　上期環境自己行動宣言活動における自己評価の実施**
- **2012 年 11 月　　内部監査の実施**
- **2013 年　3 月　　ゼロエミッションを達成（リサイクル率 100%）**

## 《2012 年度環境改善活動実績の一部》

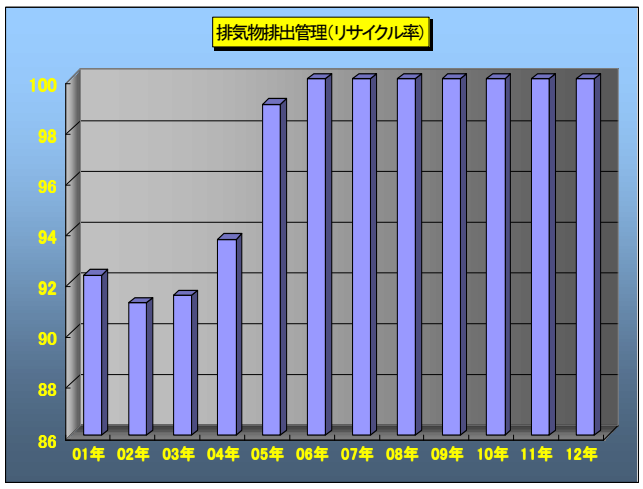
### 河川排水管理（BOD 値）



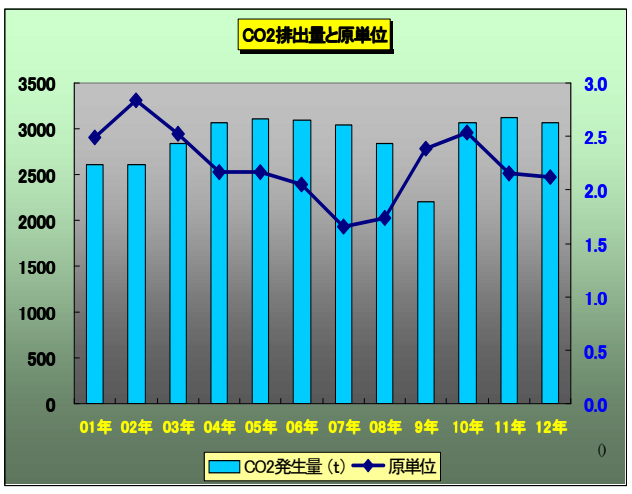

### 下水（厨房）排水管理（BOD 値）




### 廃棄物排出管理




### $CO_2$ 発生量（エネルギー起因）



**隣接する河川（養老川）の清掃を 6 月 29 日に実施。**

以　上